

9月定例会報告

一般質問

外国人にも 住みよいまちに

斎藤ひろむ



豊橋、外国人の方が数多く住んでいらっしゃるというのは、皆さんも聞いたことがあると思います。

コロナ禍で外国人の方は、母国と行き来もできず、文化や言語の壁から支援を受けるのにも困難な状況にありました。九月の一般質問で、コロナ禍の外国人市民への支援を聞きました。

今年度の4月から7月で、外国人の市民相談は昨年一年の6割が来たそうです。コロナの健康管理、支援にかかわること、失業や収入減など多岐にわたっていて、市はアドバイスをしたり、具体的な対応に取り組んだとのことでした。生活支援課に通訳を増やしたり、市の仕事にも新たに、給付金の支給やごみ収集、ゴミの分別などに、外国人のアルバイトを雇用することにも取り組んだそうです。市の業務にかかわってくださったことで、外国人市民のコミュニティの中にもゴミ出しルールを伝えたりするのに力になってもらえる可能性があるなど、「市民協働」

3つのクイズに挑戦してみてください

①豊橋市民の外国人の割合は？

②豊橋にいる外国人のうち国別トップ3は？

③豊橋には何か国の人が住んでいるしょう？

(答えは、最後に)



の観点からもあらたなきっかけになっているそうです。コロナ対策は、市民誰にとっても不安と負担を生み出しています。多様な国の人々の暮らす豊橋だからこそ、すべての市民を視野に取り組むことを今後も期待するところです。

(クイズの答え)

①ちょうど20人に一人です

②ブラジル、フィリピン、中国の順です

③69ヶ国です

条例改正

新斎場の使用料 大幅値上げに反対！ 中西みつえ



斎場の再整備が進められ2021年4月に新斎場として稼働します。民間事業者に管理・運営を任せるPFI

手法で事業が行われますが、今回斎場使用料について、市の公共施設の使用料の考え方(施設の総コストに減価償却費を加えて算定)に基づき改定が示されました。

今まで斎場は生活上の必要性が高く

非市場的な施設として、受益者の負担割合は0%と区分され、火葬料金等は別途となっていました。その上で火葬に必要な経費(燃料・電気代)のみとして市内は4,000円、市外は8,000円でしたが、改定によって市内は5,000円、市外は40,000円とし大幅な値上げになります。

斎場の火葬料金を含む使用料を改定する条例案について、住民福祉の向上に努めることとする自治体本来の役割の軽視であることを指摘し、反対しました。